

ともしび

2012



早いもので今年もあとひと月となりました。この時期はクリスマス前ということもあり、至る所でイルミネーションに飾られた光景を見ることが出来ます。

その起源は十六世紀にまで遡り、宗教改革で知られるマルティン・ルターが考えたといわれています。彼は夜、森の中で煌めく星空を見てとても感動し、木の枝に多くのロウソクを灯しその風景を再現しようと思いました。イルミネーションの光は、当時のルターが感動した星空の情景を今も多くの人に見せているのでしよう。

十二月は一年の終わりという事もあり、物寂しげな気持ちになってしまいます。しかし、星空を思い起こすような眩い光を見ると、そのような気持ちが一転し、新年に向けての活力が湧いてきます。

三宅 大哲

「ブツダと私」



【今月の言葉】

怒らないことによつて
怒りにうち勝て



今月のテーマは怒りです。これまでに腹を立てた経験が無いという人はまずいないでしょう。怒りは、普段の生活で容易に感じるもので、それだけ私達に身近な感情です。ではどのように対処していけばよいのでしょうか。お釈迦様はこのように言いました。

『怒らないことによつて怒りに打ち勝て』

怒ってはならないとのことですが、どんな人であっても、怒りの感情を抱いてしまうものです。では打ち勝つとはどういうことなのでしょう。

こんな経験があります。大学時代、私はフットサル（五人制サッカー）部に所属していました。町の大会に参加することになり、みんなで練習をしていました。フットサルは集団スポーツなので個人個人が好き勝手にプレーしては試合に勝つことはできません。しかし、みんながあまり熱心に練習に取り組んでいないことがありました。私は、薄々ゆるんだ空気を感じていましたが、「まあ、楽しくやればいいか」と思いつい何となくみんなにあわせていました。しかしある日

の練習後、部の同期だったA君が私に向かって「澤城。しっかり練習しろよ!」と言ってきたのです。

私は腹が立って「何でお前にそんな事を言われなきやいけないだよ!」と言い返しそのまま家に帰りました。しかし家に帰ってもなかなか気持ち収まりません。ずっとA君の事が頭から離れず、布団に入ってから寝つくことができませんでした。

どうして私は怒りの感情を抱いてしまったのでしょうか。一つには他人からきつく言われたのが率直に嫌でした。しかし今になって考えてみますと、それだけではないような気がします。当時の私は、何事においても他人と衝突するのを避けていました。そのため、練習中にゆるんだ空気があっても「みんなの仲を悪くしてまで、指摘する必要はない」と考え、指摘しないことを正当化していました。しかし、A君は違いました。普段から何か思った事があると、すぐに指摘をするタイプでした。自分にはできない事を彼はやっていたのです。私は、彼との衝

突を通して、「他人に対して指摘できない」という自分自身の弱さに直面したのだと思います。A君へ対しての思いだけでなく、自分に対する苛立ちもあり、結果大きな怒りを抱いてしまったのです。

怒りは危険な感情ですが、誰もが抱いてしまうものです。怒りによって、他人を傷つけ、人との関係性を断ってしまうことは不幸なことです。だからといって怒りを無理矢理抑えつけ、自分自身を傷つけてしまうことも不幸なことです。

大切なことはまず怒りに振り回されないことでしょう。怒りが湧いてきた時は、しっかりとその感情に向き合うことが重要なのです。怒りを分析していくと、相手の問題だけでなく、私がそうであったように、どこかで自分の問題に突き当たります。その問題から目をそらさず、落ち着いて対応する。お釈迦様の『怒らないことによつて怒りに打ち勝て』という言葉は、自分自身に打ち勝てと我々に伝えているような気がするのです。

私の ふるさと



第七回 熊本県 くまモン



©2010 熊本県 くまモン

今月は、昨年のゆるキャラグランプリ第一位になった「くまモン」というマスコットをご紹介します。くまモンは熊本県の営業部長として働く公務員なのです。ちなみに名刺も持っています。熊本サプライズと銘打って、熊本に来る観光客の方々や、熊本から出張し、様々な人達に「驚き(サプライズ)」を届けています。

元々は、九州新幹線の開通を記念したマスコットだったそうなのですが、人気が出始めたことで熊本県のゆるキャラとして活躍するようになりました。

実は、熊本県の県民性として新しいものが好きな人が多いと言われているのですが、そういった人のことを熊本弁で「早生者わさもん」と言います。くまモンの「モン」も熊本者の略でくまモンなのです。

くまモンは熊本のをさモン達をうならせ、あつという間に熊本に広まりました。そんなくまモンのことをのことを褒めてあげるときは、「たいしたモン」と言っ
てあげてくださいね。

〈本多 清寛〉
ほんだ しよつかん

〒105-8544 東京都 港区 芝 2-5-2 曹洞宗宗務庁内
曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 一般教化課程
ともしび法話会

TEL 03-3454-6844 FAX 03-3454-7180

2012(平成24)年 12月1日発行 第370号